

1. 実行計画改定の趣旨とこれまでの成果や課題

(1) 改定の趣旨

①各局の取組みが進展

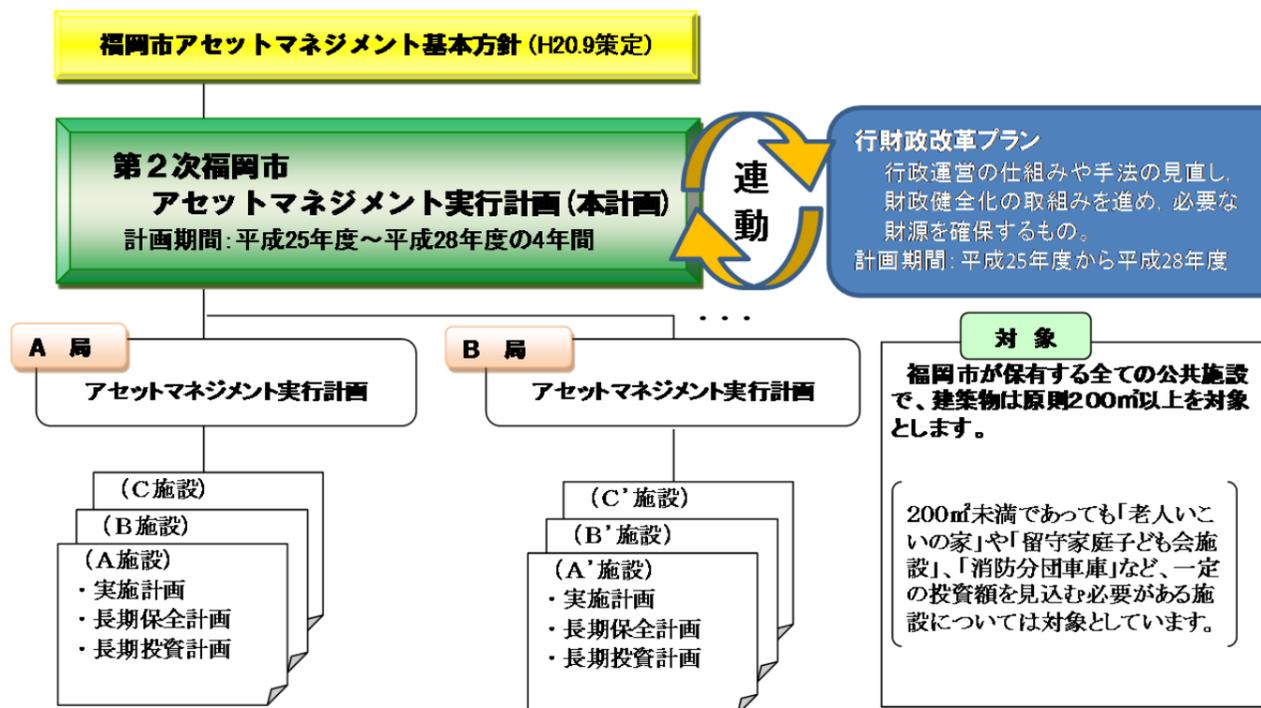
ア) 道路施設で対処療法的な維持管理手法から**予防保全型の管理手法に転換**
イ) 既に取り組を進めている**上下水道施設やごみ処理施設、市営住宅等の計画の見直し**等

②行財政改革プランの策定

アセットマネジメント経費を中期的な財政収支見通しに反映させる必要がある

各局の取組み状況や財政状況(中期見通し)等を踏まえ、より現状に沿ったものとなるよう実行計画を改定

(2) 計画の位置づけ



(3) アセットマネジメント実行計画(平成22年度～平成24年度)の成果と課題

現計画(5年間)での事業費 約3,057億円(うち一般会計分約1,576億円)の見込みに対し平成22年度からの3年間で、約1,535億円(うち一般会計約776億円)を実施した。

＜単年度平均での比較＞	
計画	約 611 億円(うち一般会計分として約 315 億円)
実績	約 512 億円(うち一般会計分として約 259 億円)

改修内容の精査等により事業費が約100億円減少

<3年間の具体的な取組み>

- ①適切な時期における施設改修(外壁、屋上防水、受変電設備等)
- ②保守管理委託費の削減【目標:10%以上削減(H19年度比)】→ 実績 約5%削減
保守点検等の業務価格の適正化を図るため、平成22年度に設計積算基準を作成
- ③光熱水費の削減【目標:10%以上削減(H19年度比)】→ 実績 約3%削減
機器更新の際、照明灯のLED化や省エネ機器を導入
- ④ライフサイクルコスト削減のための新たな手法の導入
ESCO事業*導入施設:福岡サンパレス、福岡市博物館
- ⑤保全情報システムの再構築
- ⑥施設の統合や複合化
- ⑦PFIや指定管理者制度などを活用した事業手法の導入促進
PFI方式の導入:第1給食センター(仮称)整備運営事業、福岡市新病院整備等事業
- ⑧耐震対策・バリアフリー化の推進
学校施設は、平成23年度末で耐震対策を完了
- ⑨アセットマネジメントの啓発

<成果と課題>

- ①施設(設備)の状況等を踏まえ、**施設関連投資額の低減や平準化を図りつつ、各局において着実にアセットマネジメントの取組みが進んだ。**
- ②しかしながら、今後も更なる施設関連投資額の低減・平準化を図るため、施設の改修・修繕の基礎となる**長期保全計画をより精度の高いものとする必要がある。**
- ③また、引き続き、ライフサイクルコストの低減を図るため、**施設運営に携わる職員等の更なる意識向上を図る必要がある。**

*ESCO事業:Energy Service Companyの略。エスコと読む。建物所有者から建物の省エネに関する診断・設備の改修や維持管理などの業務を一括受託する事業。ESCO事業者は改修費用を負担し、光熱水費削減額の一部を経費及び報酬として一定期間受け取る。

第2次福岡市アセットマネジメント実行計画について<概要版> ②

2. 実行計画の概要

(1) 取組みの具体的目標

① 施設の長寿命化

建物の目標耐用年数

鉄筋コンクリート造(鉄骨鉄筋コンクリート造含む)・鉄骨造 70年
木造 40～50年、軽量鉄骨造 25～50年

② 施設運営・保守管理コストの効率化

基本方針に基づき保守管理委託費、光熱水費の10%以上削減(H19年度比)を目標

③ 事業費の抑制

財政状況を注視しながら大幅な増嵩を招かないよう努める

(2) 計画期間

・平成25年度から平成28年度の4年間 (行財政改革プランと同様)

(3) 事業費の見通し

・4年間で約3,244億円(改築等1,548億円、改修・修繕1,696億円)

うち、一般会計分で約1,710億円(改築等425億円、改修・修繕1,285億円)

※なお、政策的経費(政策推進プランの計画事業費)にて計上されている大規模施設の移転改築等に要する事業費は含まない。

・事業費については、各年度の財政状況や施設(設備)の状況等を踏まえ、予算編成の中で精査していきます。

(4) 具体的な内容

★印は新規の取組み、◆印は充実・拡充する取組み、○印は継続する取組みを示す

① 長寿命化と投資の平準化

- ア) 適切な時期における施設改修(外壁、屋上防水、受変電設備等)○
- イ) 各局の長期保全計画の最適化支援(技術職員による劣化状況調査等を踏まえた改修計画)◆
- ウ) 施設管理者に対する技術協力・支援◆
- エ) 道路や市営住宅など専門施設毎のアセットマネジメント計画に基づき自律に対応◆

② 施設運営・保守管理の効率化

- ア) 施設管理者が使いやすい施設保全マニュアルの作成★
- イ) 省エネ診断事業等による光熱水費の削減(H19年度比10%削減)○
- ウ) 設計積算プログラムの活用等による保守管理委託費の削減(H19年度比10%削減)○

③ 既存ストックの有効活用

- ア) 保全情報システムの改善◆

④ 管理から経営への転換

- ア) PPP/PFI事業の導入促進(中央児童会館等)◆
- イ) 施設の統合や複合化(香椎副都心公共施設等)◆

⑤ 市民ニーズの変化や社会的要請への対応

ア) 建築物の耐震化を平成27年度までに完了○

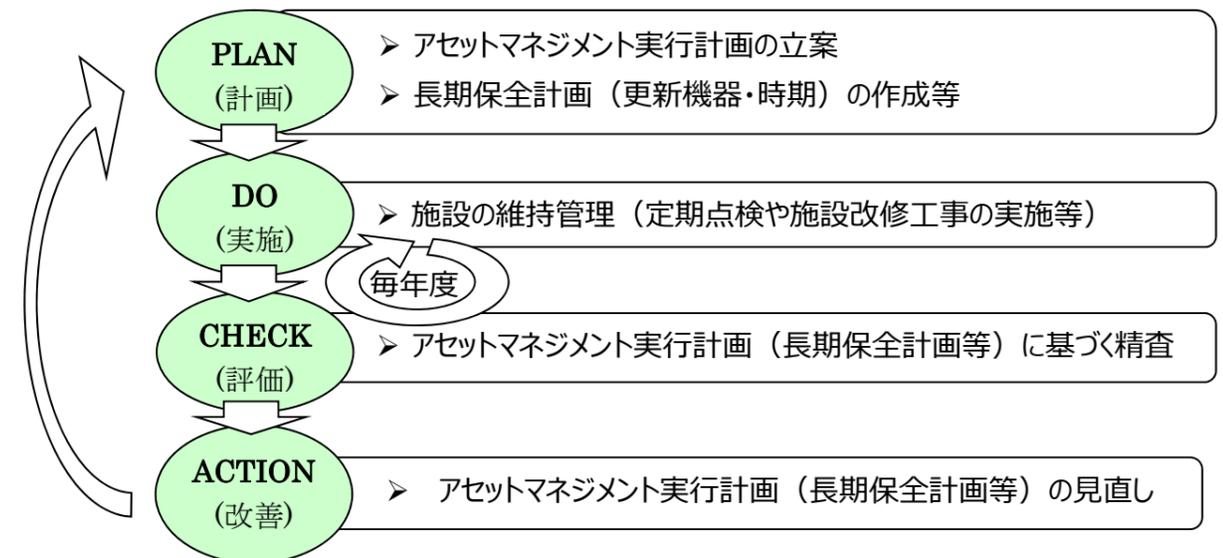
⑥ 市民との共働や説明責任

ア) 施設情報の提供や市民・NPOとの共働○

(5) 推進方策

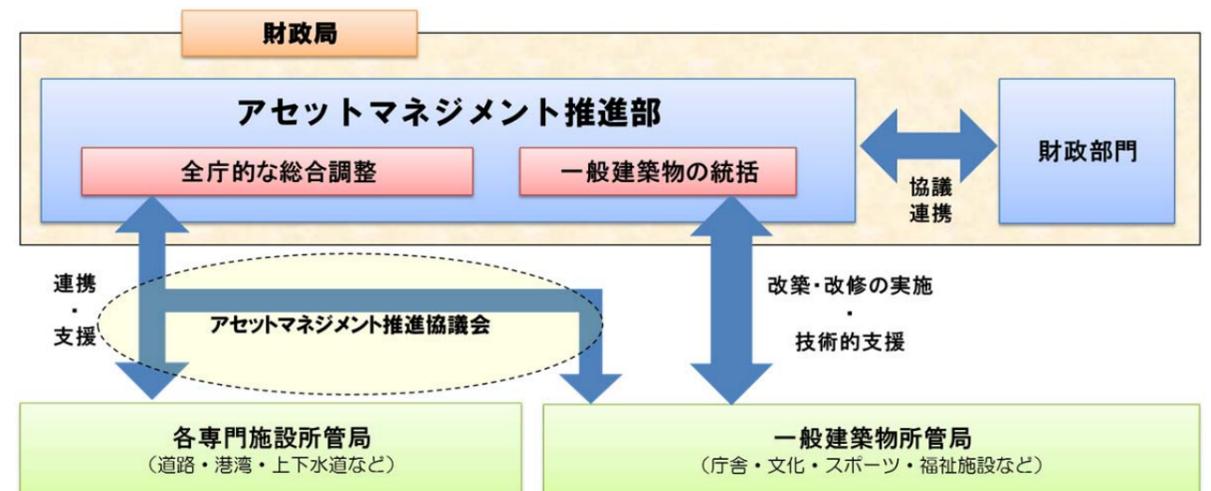
① PDCA 管理サイクルに基づくマネジメントの推進

福岡市アセットマネジメント実行計画では、「PLAN(計画)」、「DO(実施)」、「CHECK(評価)」、「ACTION(改善)」のPDCA管理サイクルを各局にて実施していきます。



② 推進体制

アセットマネジメント実行計画の推進のため、以下の体制で全市的にアセットマネジメントを推進していきます。



(参考) 計画期間中における主な施設改修 (予定)

1. 市民利用施設、行政施設 等 (一般建築物)

(1) 文化施設等(市民センター、公民館 等)

- ①城南・早良市民センターにおいて、外壁改修や屋上防水工事を実施していきます。
- ②公民館では、100坪館から150坪館へ原則年3館ペースで改築を進めていきます。
- ③博多座では、舞台機構、舞台音響等の改修を予定しています。

(2) 社会教育施設(図書館、美術館 等)

- ・福岡市美術館(築齡33年)では、施設・設備が老朽化し、大規模改修・リニューアルのための最適な事業手法を検討していきます。

(3) スポーツ・レクリエーション施設(市民プール・市民体育館 等)

- ・体育館・プールでは、外壁改修や屋上防水工事、受変電設備を更新していきます。

(4) 市営住宅

- ・市営住宅ストック総合活用計画に基づき、計画的に建替や改修・修繕等を実施していきます。

(5) 学校施設(小中高等学校、特別支援学校 等)

- ・学校施設は、昭和40年代から50年代にかけて多数建設されており、老朽化が進んでいることから、校舎全体の内・外部を全面的に改造する大規模改造のほか、トイレの洋式化等を図る便所改造等を計画的に進めていきます。

(6) 行政施設(庁舎、消防施設 等)

- ①早良区役所において、平成26年度から耐震対策工事を予定しています。
- ②消防署や消防分団車庫にて、外壁改修や屋上防水工事等を予定しています。

2. 都市基盤施設 等 (専門施設)

(1) 道路施設(道路, トンネル, 横断歩道橋 等)

- ・道路(大規模施設)アセットマネジメント基本方針に基づき、道路施設の計画的な点検に取り組むとともに、損傷が軽微な状態で補修するなど、予防保全型の維持管理に取り組んでいきます。

(2) 橋梁

- ・橋梁長寿命化修繕計画(平成21年策定)に基づき、健全度が低い橋梁から順次補修を進めており、今後も引き続き予防保全型の維持管理に取り組んでいきます。

(3) 公園施設

- ・公園施設長寿命化計画を策定し、各施設を予防保全型施設・事後保全型施設に整理するとともに既存ストックの長寿命化対策及び計画的な改築・更新を進めていきます。

(4) 上水道施設(浄水場, 管路)

- ・配水管については、漏水履歴の有無や管体調査による老朽度、路線の重要度により、緊急性の高い管路から更新していきます。

(5) 下水道施設(管渠, 処理場, ポンプ場)

- ①下水道管路については、平成25年度にアセットマネジメント手法を取り入れた「下水道管路維持管理計画」を策定し、予防保全型の維持管理に取り組んでいきます。
- ②下水道処理場、ポンプ場については、各施設ごとに策定した「第1期(H23~26)長寿命化計画」に基づき、計画的な改築・更新・修繕に取り組んでいきます。

(6) 港湾施設(外郭施設・係留施設・臨港交通施設 等)

- ・維持管理計画等に基づき、施設の点検を実施します。点検後、結果を踏まえ、施設の重要度及び緊急性等を考慮し、効率的な維持補修を行っていきます。